

## 「浮沈子」をつくろう — 作り方③ ストロー編 —

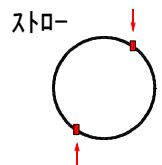
### ～ ストローを使った浮沈子の作り方 ～

#### <用意するもの> (図1)

ペットボトル、ストロー、ねじ（ストローの口に合った大きさのもの）  
はさみ、押しピン、ライター、ニッパー 他

#### <作り方>

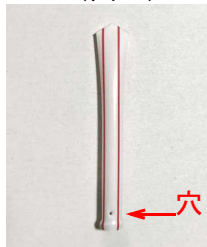
- (1) ストローを5 cmぐらいの長さに切る。ストローの一方の端にネジをねじ込む。ネジが入りにくいときは、ニッパーやボールペンの先などを使ってストローの穴を少し広げるとよい。
- (2) ストローの、ネジを差し込んだ側の根元に押しピンで2カ所穴を開ける。(図2) このとき右図のような位置に矢印の向きに穴を開けると、浮沈子は回転するようになります。
- (3) ストローのもう一方の端を閉じる。ストローの端から1 mmほどのところをニッパーでしっかりはさみ、ライターの火であぶるとストローが溶けて密着します。(図3)  
(※) この作業は、必ず大人の人と一緒にやってね！
- (4) 浮沈子をコップなどに入れた水の中に入れ、側面を指でつまんで、浮沈子の中に水を入れる。手を離れたときに、浮沈子が水に浮くように水量を調節する。
- (5) いろいろ工夫してみよう。  
浮沈子の横にストローを貼りつけてH2ロケットをつくってみたよ！(図4)



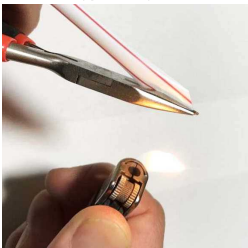
(図1)



(図2)



(図3)



(図4)



(図5)

